

1 学校経営の基本方針

(1) 児童を中心に据えた学校経営を推進する。

学校は、すべての児童が自他の存在を認め、「学ぶ楽しさ、伸びる喜びが実感できる場」でなくてはならない。そのために、日々の教育活動で児童を深く理解し、個々のよさを認め、学力や体力の伸長のため適切な支援を行う。

(2) 保護者・地域社会の信頼に応える学校経営を推進する。

本校は、149年目の歴史と伝統を有し、保護者・地域社会からその教育活動に対する関心が高く期待も大きい。保護者・地域社会及び関係機関との連携を図り、期待と信頼に応える教育活動を推進する。

2 学校教育目標

○ 進んで学ぶ子（知） ○ 助け合う子（徳） ○ 元気な子（体）

3 目指す学校像

○ 児童一人一人のよさを認め、育み、伸ばすとともに、
保護者・地域の信頼にこたえる学校

(1) 目指す学校像

○児童

- ・ 学ぶ意欲を育む学校
- ・ すべての子供の「よさ」を認める学校
- ・ 挨拶の通い合う学校
- ・ 安全・安心に生活できる学校
- ・ 歌声の響く学校

○保護者・地域

- ・ 地域に根ざした教育の実践と地域社会への奉仕
- ・ 家庭と学校の役割分担と協力
- ・ 子供たちの安心・安全の確保

(2) 目指す児童像

○自ら学ぶ意欲を持って、一步一步努力する子

○自分の存在に自信を持てる子

○心のこもった挨拶・返事、言葉遣いが正しくできる子

○目標に向かって、真面目に、そして誠実に取り組む子

○元気で、健康な身体作りに取り組む子

(3) 目指す教職員像

- 児童に寄り添い、共に歩む教師（よさを引き出し、自信を持たせる）
- 使命感と情熱を持った教師（厳しさと優しさを持って児童に接する）
- 学び続ける教師（良い授業を通して、児童にわかる楽しさ、できる喜びを味わわせるために研究と修養に励む）

※ 学校教育目標の具現化に向けて

「進んで学ぶ子」 自ら学ぶ意欲の向上（興味・関心）

- ①基礎的・基本的な知識及び技能の定着
 - ・読むこと、書くこと、計算指導の徹底と少人数指導の充実
- ②思考力・判断力・表現力の育成
 - ・自分の言葉で表現すること
 - ・振り返りの実施
- ③学力向上
 - ・「玉小スタイル」（国語・算数）を核にした学び方の基礎の徹底習得（学び合い学習）
 - ・NRT・CRT 学力テスト、全国学力・学習状況調査、県学力学習状況調査での学習定着度の検証と苦手分野・領域の克服
 - ・算数検定の実施 ・漢字検定（４年）実施 ・日本語検定（４・５・６年）の実施
 - ・読書活動の推進 ・暗唱指導の充実 ・これできプリント
- ④２年「川の楽校」や４年「都幾川の自然を守る」等、学校の特色を生かした実践の推進
- ⑤自主学習の推進（玉ちゃんノートの活用）

「助け合う子」 素直な心の育成

- ①あいさつ運動－あいさつ運動、教職員の立哨指導
- ②言語環境の整備
- ③縦割り活動（わらべえ活動）の充実
- ④道徳の授業の充実（時数、内容、実践化）
- ⑤道徳心の向上
 - ・福祉教育の推進
 - ・地域行事への参加
 - ・ボランティア活動の奨励
- ⑥感性を育む
 - ・歌声の響く学校
 - ・光る汗、光る廊下（整理・整頓、清掃活動の充実）
 - ・花いっぱいによる季節感覚の浸透
 - ・児童作品の積極的な展示（都幾川公民館・アスピアたまがわ・活き生き活動センター）

「元気な子」 自分を励まし、大切にする

- ①健康・体力の維持、推進、向上
- ・ 基本的生活習慣の確立（早寝・早起き・朝ご飯）
 - ・ 新体力テストの学校平均の向上（県平均以上の種目を８０％以上）
 - ・ 外遊びの奨励
 - ・ 保護者の協力のもと食育指導の充実
- ②自主性の尊重
- ・ 委員会・クラブ活動の活性化
 - ・ 児童ができるものは、児童に任せ、見守る（待つ）
 - ・ 体を動かしたくなるような言葉かけ

令和4年度 本年度の指導の重点・努力点

(1) 確かな学力の定着 (知)(体)

- ・ **基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着**
- ・ 分かる授業、ねらいの明確化、繰り返し指導、児童の言葉による振り返り
- ・ 学び合い学習の実施
- ・ 少人数学習・習熟度別学習の実施
- ・ 読み、書き、計算、**暗唱**、音読の充実
- ・ **漢字検定、日本語検定、算数検定の実施**
- ・ 玉小スタイルによる共通した**国語・算数指導の実施**
- ・ 玉ちゃんノートの活用 (家庭学習習慣の確立)
- ・ 新体力テストの結果分析と解決策の実施、体力貯金)
- ・ 外国語 (活動) の充実
- ・ ノーマライゼーションの理論に基づいた特別支援教育の推進
- ・ きれいで丁寧なノート作成の指導

(2) 豊かな心の育成 (徳)(体)

- ・ 児童の自己肯定感を育む学校生活の充実 (褒める・認める・選択させる)
- ・ 児童から発信する、主体的な「あいさつ運動」(代表委員会、有志によるあいさつ運動など)
- ・ 基本的な生活習慣の確立
 - 3つの「あ」、(あいさつ・あしもと・あとしまつ) 清掃活動の充実
 - 早寝、早起き、朝ご飯 ノーゲームデーの実施
- ・ I C T教育の推進、情報モラルに関する指導の充実
- ・ 故郷 ときがわ町 に誇りを持てる教育の推進
- ・ 道徳授業実践の充実、日々の学校生活の充実
- ・ 読み聞かせ、読書タイム、読書月間の充実と活用
- ・ 保護者面談の積極的実施・教育相談の充実
- ・ 外遊びの奨励、食育指導の充実、体力貯金
- ・ 全教育活動を通じた人権教育の推進
- ・ 福祉教育の充実 (障害のある方を招いての学習・福祉体験 **社会福祉協議会との連携**)
- ・ 保育園、中学校、**各専門機関との連携**

(3) 専門性・人間性を高める職員研修

- ・ **自己評価シートの作成と活用** (具体的な取組の設定とその実践 学級経営・道徳・特活)
- ・ 教育公務員としての職務を自覚し、一層高い倫理性の確立 (教職員事故 0)
- ・ 互いに協力、信頼関係を構築する組織づくり
- ・ 報告・連絡・相談の徹底

(4) 保護者、地域社会の期待に応える実践 (家庭、地域との連携)

- ・ **P T A活動の充実、協力体制の確立**
- ・ 学校ホームページを活用した積極的な情報発信
- ・ 適切な情報の収集、発信 (電話連絡、家庭訪問、各種たよりの定期的な発行)
- ・ 親切、丁寧、誠実、迅速な保護者対応

- ・学校教育活動の積極的な公開（土曜授業日の実践）
- ・地域の教育力の活用（学校応援団、学校支援ボランティア）
- ・学校応援団の整備・充実（見守り活動の充実）
- ・地域活動への参加（和の祭典 等）
- ・家庭学習の定着、基本的な生活習慣の確立のための協力依頼
- ・PTAと積極的に連携することとおした信頼関係の構築
- ・緊急メールの配信・活用

(5) 教育環境の整備・充実

- ・ 安心・安全に生活できるきれいな学校づくり
- ・ 清掃活動に真剣に取り組む態度（光る汗、光る廊下）
- ・ 花と緑の潤いのある環境づくり。
- ・ 都幾川の自然を守る（県立川の博物館との連携）
- ・ 通学班による学期1回のゴミ拾い活動

(6) 安全・安心な学校づくり

- ・ **新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底**
- ・ **学習環境の整備による安心・安全な学校生活**
- ・ 命を守ることを最優先にした避難訓練の実施
(地震予知音声の活用、不審者対応の訓練、抜き打ちの避難訓練)
- ・ 定期・不定期、全員の目による安全点検を実施することによる
校内危険箇所の早期発見と修繕の実施
- ・ 登下校の交通安全及び不審者対応（玉小安全見守り隊、保護者との連携）

※ 玉小教職員の心構え！ 「チーム玉小」

4つの凡事徹底

① **あいさつと整理整頓**

- ② 報告・連絡・相談の徹底（悪い情報こそ、早めに報告）
- ③ 仕事の見届け（しっかりとした見極めと見届け）
- ④ 職場の規律を守り、人間性を認める（人に優しく、仕事に厳しく）

3つのC

- ① チャレンジ (Challenge) 新たな取組への挑戦
- ② チェンジ (Change) よりよい自己への変革
- ③ チャンス (Chance) 児童の可能性を伸ばす

3つのS

- ① サポート (Support) 全員で支え合う！
- ② スマイル (Smile) 仕事は明るく、楽しく笑顔で！
- ③ スタンス (Stance) 親切！丁寧！誠実！迅速！

3つのW o r k s

- ① チームワーク (Team Work) 組織的 機能的 協同的
- ② フットワーク (Footwork) 機動的 即時的
- ③ ネットワーク (Network) 情報交換 情報共有